

令和7年11月27日

大阪市立校園PTA会長 様

大阪市PTA協議会
会長 岡村 博之
TEL 6942-0610
FAX 6946-0592

「市P文楽教室」ご案内

晩秋の候、ますますご清祥をお喜び申しあげますとともに、日頃のご協力ご支援に厚くお礼申しあげます。

さて、好評の「市P文楽教室」を、国立文楽劇場のご協力により下記の通り実施いたします。

年が明けてからの実施になりますが、新春の貴PTAの行事の一環として、成人教育委員会でとりあげていただくなり、会員の皆様方に広くよびかけてくださるなりして、貴PTAから多数ご参加くださいますよう、ご案内申しあげます。

記

- 1 日 時 令和8年1月21日（水）
 受付 午前9時40分
 開演 午前10時～午後1時50分終演予定
 （開演は午前11時）
- 2 場 所 国立文楽劇場（中央区日本橋 1-12-10 TEL 6212-2531）
 ※ 地下鉄・近鉄「日本橋」下車 ⑦号出口より東へ1分
- 3 趣 旨

「人形浄瑠璃 文楽」は、大阪生まれ大阪で育った伝統芸能として、能楽・歌舞伎と共にたいへん有名なものです。現代技術の粋を尽くした豪華な国立文楽劇場で、なにわの芸能・文楽を鑑賞し、なにわの文化について認識を新たに、「すきやねん、大阪」の心を高揚してください。

- 4 参加者 大阪市PTA協議会会員
- 5 内 容

（1）太夫、三味線についての解説

「文楽教室」ということで開演に先立ち、講師をお招きし、実演しながらわかりやすく解説していただきます。お話を聞くだけでなく、間近で見られたり、一緒に写真を撮ったり、普段できない貴重な体験ができます。

今までは人形遣いについての解説でしたが、今回は、「太夫」もしくは「三味線」についての解説ですので、ご関心のある方はぜひご参加ください。

【太夫】

舞台の上手（舞台に向かって右側）の出語り床で浄瑠璃を語ります。情景描写に始まり、様々な登場人物の喜怒哀楽を表現し、基本的には一人で物語を語ります。浄瑠璃にはいくつかの種類がありますが、文楽では義太夫父節を用います。

【三味線】

太夫の隣で「太棹（ふとざお）」と呼ばれる三味線を演奏します。文楽における三味線は、単なる太夫の伴奏ではなく、繊細な音から豪快な音まで幅広い音色を出し、物語を描き出します。

（２）演 目

寿式三番叟（ことぶきしきさんばんそう）

摂州合邦辻（せしゅうがっぼうつじ）

- 6 参加費 おひとり 5,200円（一般料金 6,500円を割引）
（団体割引人数に20名に達した場合）

- ・各校園からは1名からでもお申し込みいただけます。
参加人数確定後、再度ご案内する際に、参加費をお知らせいたします。
- ・当日徴収しますので、世話係りの方がまとめておいてください。
（なるべく、つり銭がないようお願いいたします。）

- 7 申し込み 別紙参加申込書にご記入の上、12月25日（木）までに、
大阪市PTA協議会にお申し込みください。

郵便 〒540-0006
中央区法円坂1-1-18
大阪市教育会館 内
大阪市PTA協議会事務局

FAX 6946-0592

メール osksipta@crest.ocn.ne.jp

- 8 昼食は各自ご用意ください。ただし、劇場内でのご飲食はご遠慮ください。
館内1階、2階のロビーをご利用ください。